

2014年(平成26年)3月期 決算の概要

1 契約の状況	1 ページ	4 資産運用の状況	6 ページ
2 損益の状況	4 ページ	5 基礎利益の状況	8 ページ
3 資産・負債の状況	5 ページ	6 健全性の状況	9 ページ

株式会社 かんぽ生命保険
2014年5月15日

※1 データは、いずれも単体ベースのもの
※2 金額表示は、特に指定のあるものを除き、切捨て

1 契約の状況①

- 個人保険の新契約は、223.4万件、金額6兆5,598億円
- 個人年金保険の新契約は、14.9万件、金額5,241億円

< 新契約の内訳 >

[単位未満四捨五入]

	2014/3期		2013/3期	
	件数	金額	件数	金額
個人保険	223.4 万件	6 兆 5,598 億円	220.8 万件	6 兆 5,159 億円
終身	65.7 万件	2 兆 1,795 億円	55.0 万件	1 兆 8,470 億円
養老	139.8 万件	4 兆 1,877 億円	143.8 万件	4 兆 4,360 億円
学資	17.9 万件	1,911 億円	21.9 万件	2,315 億円
個人年金保険	14.9 万件	5,241 億円	18.2 万件	6,335 億円

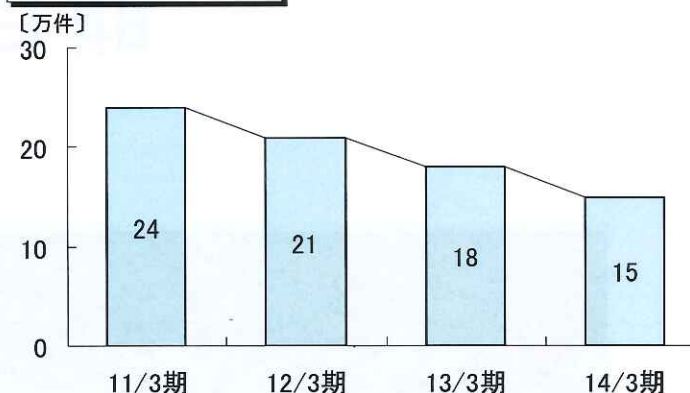
- ※1 主な項目について掲載しております。
 ※2 個人保険の金額は、死亡時の支払保険金額等です。
 ※3 個人年金保険の金額は、年金支払開始時における年金原資です。

< 新契約の推移 >

個人保険(件数)



個人年金保険(件数)



1 契約の状況②

- かんぽ生命の保有契約は、個人保険1,167万件、金額33兆7千億円、個人年金保険119万件、金額3兆4千億円
- 簡易生命保険契約の保険を合計した個人保険の保有契約は、3,486万件

< かんぽ生命の保有契約の内訳 >

[単位未満四捨五入]

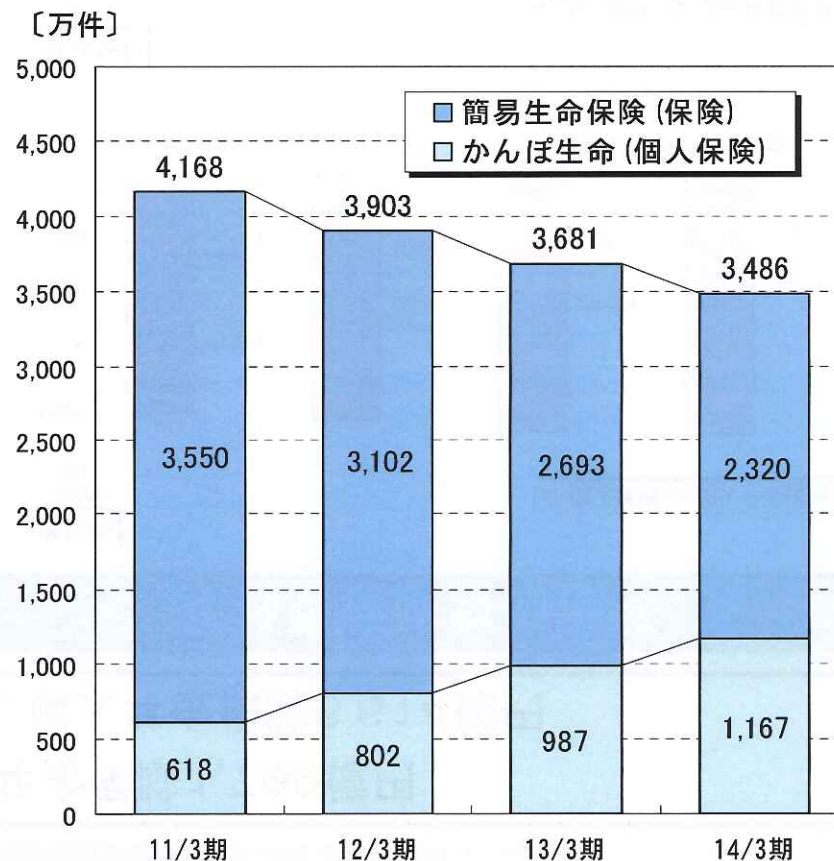
	2014/3期 期末		2013/3期 期末	
	件数	金額	件数	金額
個人保険	1,167 万件	33 兆 7,357 億円	987 万件	28 兆 4,807 億円
終身	278 万件	9 兆 1,338 億円	223 万件	7 兆 3,153 億円
養老	756 万件	22 兆 7,364 億円	646 万件	19 兆 5,924 億円
学資	132 万件	1 兆 8,485 億円	118 万件	1 兆 5,574 億円
個人年金保険	119 万件	3 兆 4,439 億円	106 万件	3 兆 1,946 億円

※1 主な項目について掲載しております。

※2 個人保険の金額は、死亡時の支払保険金額等です。

※3 個人年金保険の金額は、年金支払開始前契約の年金支払開始時における年金原資と年金支払開始後契約の責任準備金額を合計したものです。

< 保有契約の推移 >



1 契約の状況③

- 新契約の年換算保険料は、個人保険4,391億円、個人年金保険1,799億円
- 保有契約の年換算保険料は、個人保険2兆1,922億円、個人年金保険6,614億円

< 年換算保険料の内訳 >

《新契約》

[単位未満四捨五入]

	2014/3期	2013/3期
個人保険	4,391 億円	4,317 億円
個人年金保険	1,799 億円	2,228 億円

《保有契約》

[単位未満四捨五入]

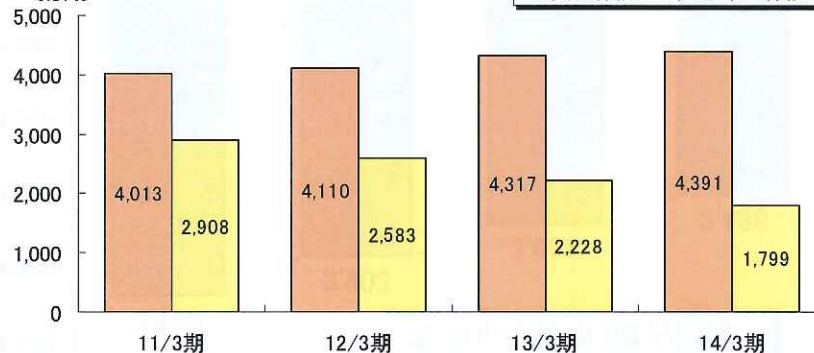
	2014/3期 期末	2013/3期 期末
個人保険	2 兆 1,922 億円	1 兆 8,557 億円
個人年金保険	6,614 億円	6,674 億円

- ※1 年換算保険料とは、1回あたりの保険料について保険料の支払方法に応じた係数を乗じ、1年あたりの保険料に換算した金額です（一時払契約等は、保険料を保険期間等で除した金額）。
- ※2 保有契約はかんぽ生命の保有契約であり、簡易生命保険契約は含んでおりません。

< 年換算保険料の推移 >

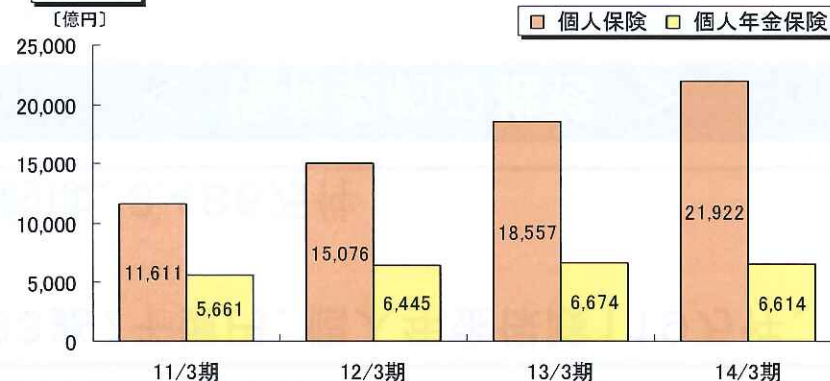
新契約

[億円]



保有契約

[億円]



2 損益の状況

■ 経常利益は4,635億円、当期純利益は634億円

< 損益計算書の概要 >

	2014/3期	2013/3期	増減
経常収益	112,339	118,349	△ 6,009
保険料等収入	59,116	64,817	△ 5,701
資産運用収益 (注1)	15,406	15,607	△ 201
責任準備金戻入額	36,564	37,418	△ 853
経常費用	107,704	113,055	△ 5,351
保険金等支払金	101,608	106,730	△ 5,121
資産運用費用 (注2)	181	295	△ 113
事業費	5,130	5,129	1
経常利益	4,635	5,293	△ 658
特別損益 (注3)	△ 999	△ 669	△ 330
契約者配当準備金繰入額	2,421	3,074	△ 652
税引前当期純利益	1,213	1,549	△ 336
法人税等合計	579	639	△ 60
当期純利益	634	910	△ 275

[単位:億円]

※ 主な科目について掲載しております。

注1 資産運用収益は、利息及び配当金等収入
14,581億円、有価証券売却益 710億円等です。

注2 資産運用費用は、有価証券売却損 102億円
等です。

注3 特別損益は、価格変動準備金繰入額
913億円等です。

3 資産・負債の状況

■ 総資産は87兆円、純資産は1.5兆円

< 貸借対照表の概要 >

	2014/3期 期末	2013/3期 期末	増減
資産	870,886	904,623	△ 33,737
現金及び預貯金	16,635	7,241	9,393
金銭の信託	5,816	2,568	3,247
有価証券	693,789	725,581	△ 31,792
国債	525,229	564,726	△ 39,496
地方債	91,737	86,984	4,752
社債	64,418	64,838	△ 420
外国証券	12,394	9,022	3,372
貸付金 (注1)	110,205	126,915	△ 16,709
繰延税金資産	5,926	4,615	1,311
負債及び純資産	870,886	904,623	△ 33,737
負債	855,541	889,975	△ 34,434
保険契約準備金 (注2)	807,999	847,460	△ 39,461
価格変動準備金	6,142	5,228	913
純資産	15,344	14,647	696
株主資本合計 (注3)	13,496	13,089	406
評価・換算差額等合計	1,847	1,557	290

〔単位：億円〕

※ 主な科目について掲載しております。

注1 貸付金の内訳は、機構貸付 10兆2,030億円、一般貸付 7,632億円、保険約款貸付 542億円です。

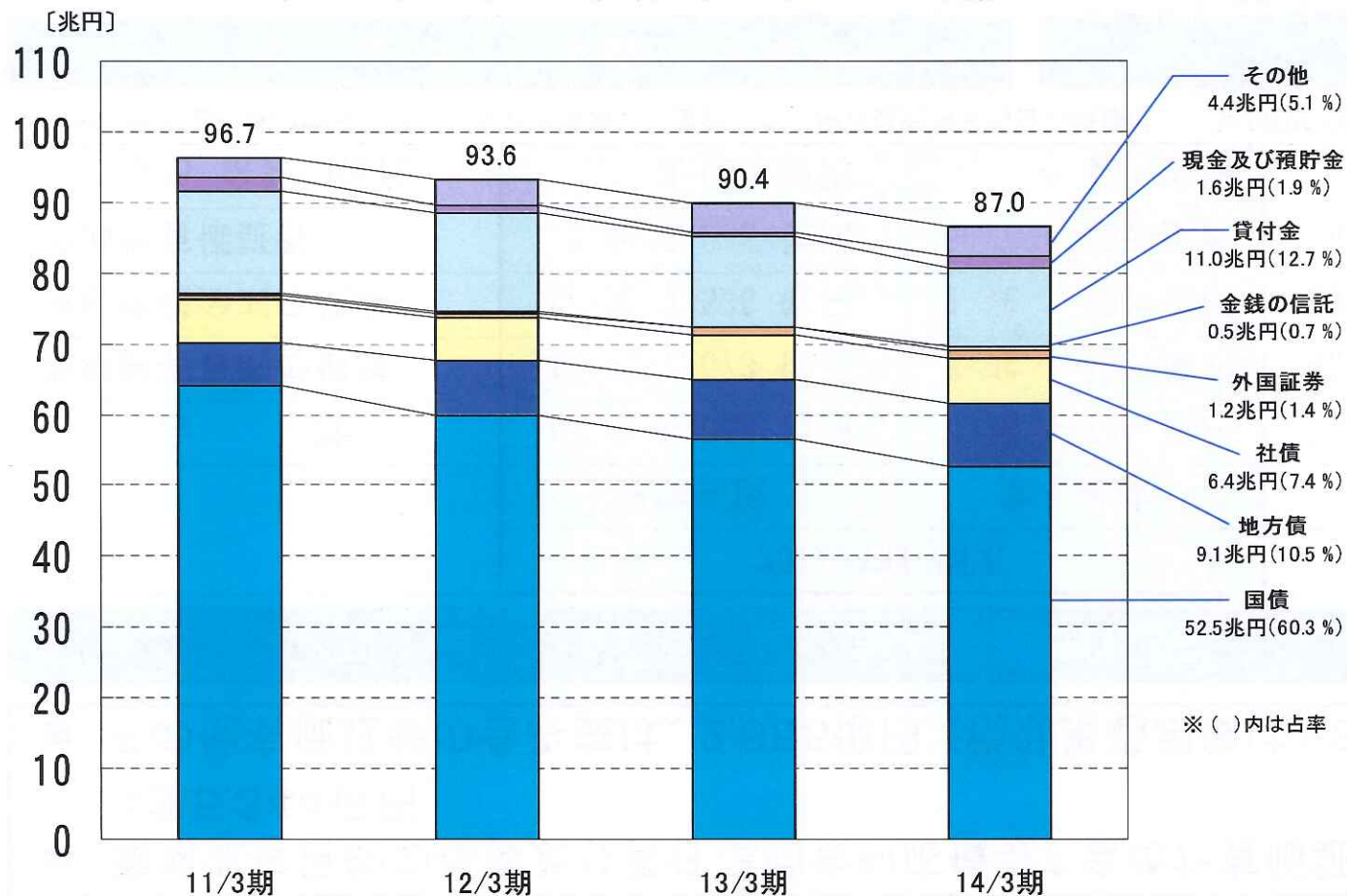
注2 保険契約準備金の内訳は、責任準備金77兆7,454億円、支払備金8,316億円、契約者配当準備金2兆2,227億円です。

注3 株主配当金227億円を支払い、当期純利益634億円を計上した結果、406億円の増加となりました。

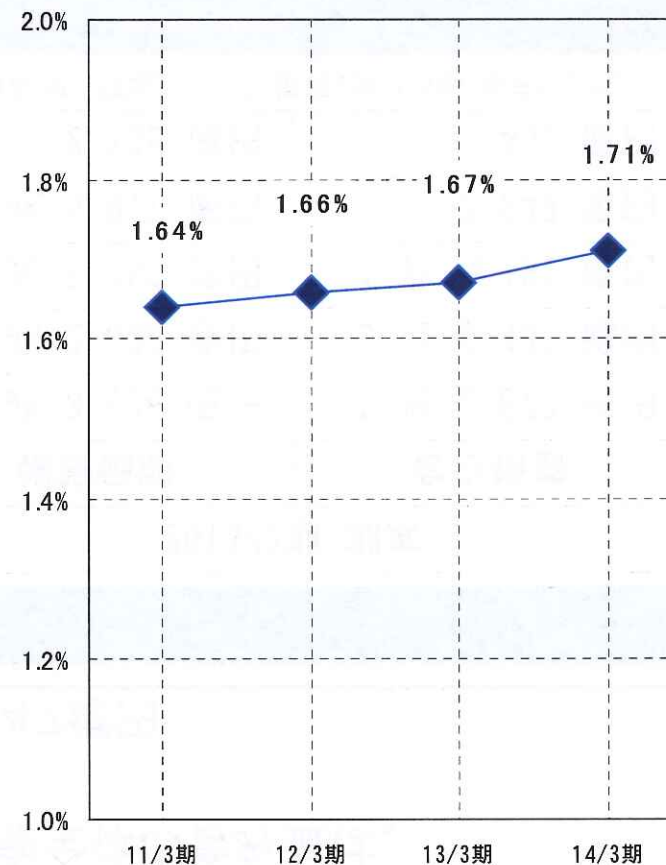
4 資産運用の状況①

■ 資産運用は、国債を中心とした有価証券が69兆円、貸付金が11兆円等

< 資産構成の推移 >



< 運用利回りの推移 >



※ 運用利回りは、キャピタル損益等を含めた利回りです。

4 資産運用の状況②

- 満期保有目的の債券及び責任準備金対応債券を含めた有価証券全体の含み益は、4兆5,344億円
- その他有価証券の含み益は、2,655億円（税効果適用後は1,847億円）

< 含み損益の状況 >

	2014/3期 期末		2013/3期 期末	
	帳簿価額	含み損益	帳簿価額	含み損益
合 計	70 兆 5,058 億円	4 兆 5,344 億円	73 兆 3,826 億円	5 兆 2,872 億円
満期保有目的の債券	45 兆 2,573 億円	3 兆 1,697 億円	43 兆 2,820 億円	3 兆 6,431 億円
責任準備金対応債券	17 兆 9,536 億円	1 兆 991 億円	23 兆 5,088 億円	1 兆 4,191 億円
その他有価証券	7 兆 2,948 億円	2,655 億円	6 兆 5,917 億円	2,249 億円
うち 金銭の信託	4,990 億円	825 億円	2,135 億円	433 億円

※ その他有価証券の含み損益は、税効果適用前の金額です。税効果適用後の含み損益は、1,847億円(2014/3期 期末)、1,557億円(2013/3期 期末)です。

< 金銭の信託で保有する国内株式の含み損益がゼロになる株価水準 >

	日経平均株価
2014/3期 期末	12,000 円
2013/3期 期末	9,800 円
2012/3期 期末	9,900 円
2011/3期 期末	10,100 円

< 参考指標 >

	日経平均 株価	円ドル	円ユーロ	円金利 (10年国債)
2014年3月末	14,827 円	102.92 円	141.65 円	0.640 %
2013年3月末	12,397 円	94.05 円	120.73 円	0.560 %
2012年3月末	10,083 円	82.19 円	109.80 円	0.985 %
2011年3月末	9,755 円	83.15 円	117.57 円	1.255 %

5 基礎利益の状況

- 逆ざやは解消し、基礎利益は4,820億円

< 基礎利益の内訳（三利源） >

	2014/3期	2013/3期	増減	2012/3期
基礎利益	4,820 億円	5,700 億円	△ 879 億円	5,716 億円
危険差益	2,904 億円	3,852 億円	△ 947 億円	3,819 億円
費差益	1,373 億円	1,895 億円	△ 521 億円	2,512 億円
利差益	542 億円	△ 47 億円	589 億円	△ 615 億円

<（参考）基礎利益上の平均予定利率 >

	2014/3期	2013/3期	増減	2012/3期
平均予定利率 (注1)	1.84 %	1.88 %	△ 0.04 %	1.91 %
利子利回り (注2)	1.91 %	1.87 %	0.04 %	1.83 %

注1 平均予定利率は、予定利息の経過責任準備金に対する利回りのことです。

経過責任準備金は、危険準備金を除いた責任準備金により次の式で計算しています。（期始責任準備金＋期末責任準備金－予定利息）×1／2

注2 利子利回りは、基礎利益上の運用収支（キャピタル損益を含まない運用収支）等の経過責任準備金に対する利回りのことです。

6 健全性の状況

- 負債として積み立てた内部留保は、危険準備金2兆5,887億円及び価格変動準備金6,142億円を合わせた3兆2,030億円
- 逆ざや等を補填するための追加責任準備金は、6兆1,353億円

< 内部留保の積立状況 >

	2014/3期 期末	2013/3期 期末
危険準備金	2兆5,887億円	2兆6,836億円
限度額 (充足率)	2兆7,531億円 (94%)	2兆8,994億円 (93%)
価格変動準備金	6,142億円	5,228億円
限度額 (充足率)	7,796億円 (79%)	7,750億円 (67%)
内部留保合計	3兆2,030億円	3兆2,064億円

< 追加責任準備金の積立状況 >

2014/3期 期末	2013/3期 期末
6兆1,353億円	6兆2,125億円

※ 独立行政法人郵便貯金・簡易生命保険管理機構の受再保険の終身年金等を対象に、責任準備金を2011年3月期より10年間にわたり新たに追加して積み立てることとしており、当期に積み立てた額は、1,751億円となります。

< ソルベンシー・マージン比率 >

2014/3期 期末	2013/3期 期末
1,623.4%	1,467.9%

< 実質純資産額 >

2014/3期 期末	2013/3期 期末
9兆4,422億円	10兆1,074億円